

● 私が小学4年生になったらやりたいこと
● 大人になると、様々なことにげんか
● を感じる。例えば、運動。
● 大人になると、体が思うように動か
● ず、一つのことを覚えるのにも時間
● がかかる、私は小学4年生にもどれ
● たら、ほんかくてきに毎日走り、り
● くじょうの選手になりたい。
● そして、毎日野球のピッチングの
● 練習をして、ダルビッシュのよう
● なピッチャーにもなりたい。
● 運動だけではない。
● 毎日、むずかしい本を1さつは読
● むようにもしたい。
● 大人より、子どもの方が覚える力
● があるからである。子どもは本
● 当に天才なのだ。そして、覚え
● たちしきで、本を書いて、12才
● の文学賞でよいせいせきをとる
● だ。
● 小学生にはむげんのかのうせい
● がある。やればなんだってできて
● しまう子どもがうらやましくて
● ならない。私はこのことを伝え
● たくてこの教師の世界に入
● った。何度と言う、子どもは全
● 員、天才なのだ。

問 い 1
筆 者 が 小 学 4 年 生 に な っ た ら な り た い も の と
は () 選 手
問 い 2
筆 者 は ど う し て 教 師 に な っ た の か
()